令和　 　年　　月　　日

至学館大学

学 長　 谷岡　郁子 殿

動物実験に関わる自己点検・評価

動物実験責任者

所　属

職　名

氏　名 ㊞

○ 承認番号

○ 研究課題

(実験実習名　□解剖生理学実験　□栄養生理学実験　□その他(　　　　　　))

○ 実験実施期間　令和　　　年　　　月　　　日　～　令和　　　年　　　月　　　日

○ 動物実験の種類　　　研究　　・　　教育 (実験実習)

○ 実験動物について ( 変更： 有・無 )

入手方法：□ 購入 □ 譲受 □ 自家繁殖

遺伝的品質：□ 近交系 □ クローズドコロニー　 □その他（　　　 　）

微生物的品質：□ 無菌 □ ＳＰＦ □ コンベンショナル　□　その他（　　 　）

動物種：□ マウス □ ラット □ その他（　　 　 　）

総使用匹数(自家繁殖分を除く)：

○ 飼養場所および動物実験の場所について　(変更：　有・無)

□ 実験動物室 □ 214 解剖生理学実験室 □ 233 A/B 実験室

□ 215B 実験室 □ その他（　　　　　　　　 　　　）

○ 実験処置について ( 変更： 有・無 )

□ 保定 □ 固定 □ 薬剤投与 □ 麻酔下で採取 □ 外科的処置

□ 給餌制限 □ 給水制限 □ その他（　　　 　　　　　　　　）

○ 安楽死方法について ( 変更： 有・無 )

□ 過剰量の麻酔薬の投与 □ 炭酸ガス吸入 □ 頚椎脱臼

□ その他 ( 　　　　 )

○ 人体や環境に対する危険因子について　( 変更： 有・無 )

□ 有 □ 無

人体や環境に対する危険因子について、「有」の場合

* 化学的危険因子 □ 生物学的危険因子 □ 遺伝子組換え生物
* その他 ( )